

環境経営レポート

令和5年度第07号

(対象期間: 令和5年6月1日～令和6年5月31日)

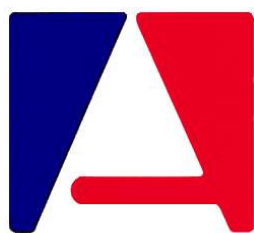
作成年月日: 令和6年8月30日

《目 次》

<u>1 組織の概要</u>	1P
<u>2 環境経営方針</u>	2P
<u>3 実施体制</u>	3P
<u>4 環境経営目標と実績</u>	4P
<u>5 環境経営目標の実績とその評価・次年度の環境経営目標</u>	5P
<u>6 環境経営計画</u>	7P
<u>7 取組内容・結果と評価・次年度の環境経営計画</u>	8P
<u>8 環境関連法規等の遵守状況の確認等</u>	16P
<u>9 代表者による見直し</u>	17P

【その他添付資料】

- 地域との融合活動
- 環境上の緊急対策
- 環境コミュニケーション受付表



株式会社

秋山機器

1. 組織の概要

事業者名及び代表者名

株式会社秋山機器
代表取締役社長 秋山尚毅

所在地

本社・工場
静岡県沼津市大岡4044-28
延床面積/4,610㎡



環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 駒形 英史
事務担当者 袴田 亜祐美
漆田 春香

TEL 055-960-8128
E-mail soumu@akiyamakiki.co.jp

対象範囲(認証・登録範囲)

活動: 板金関連機器製造(板金部品、化学機械装置の製造及び産業機器の組立)及び防犯カメラ装置の販売
対象組織: 本社・工場

事業規模

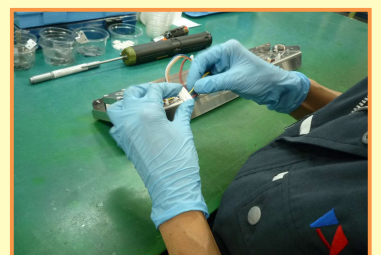
売上高: 全社 4億5,112万円
従業員数: 全社 46名
事業年度: 毎年 6月1日～翌年5月31日

【事業概要】

「鉄鋼、ステンレス、アルミ精密板金加工のプロフェッショナル」

●ただ板金加工をするだけでなく、企画・設計から塗装・組立まで一貫生産を行うことが出来る”プロフェッショナル”の名にふさわしい会社です。医療用機器から半導体製造装置、OA機器に至るまで弊社が超精密板金で貢献しております。

●材料の金属板に対して、型の抜き取り、穴あけ及び曲げ加工、溶接工程を通して細かい調整を行ないながら、様々なオーダーに対応しております。また、不良不具合ゼロを目指して工程内検査を徹底しておりますのでご要望通りの製品の提供を行うことが出来ます。



2. 環境経営方針

環境理念



株式会社秋山機器は、
超精密板金及び組立配線の「ものづくり」の会社であり、
そのあらゆる事業活動において地球環境保全に貢献する為、
環境マネジメントシステムを構築し“自然への配慮と、
環境に優しいもの造り”をスローガンに、社会と共に発展する為、
次の事項を推進します。



基本方針

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます

- 1) 電気、軽油、ガソリン等の使用量削減に努めます
 - 2) 3R活動の展開による廃棄物の削減に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
 - 4) 化学物質の適正使用に努めます
- 

2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制を遵守します

3. 環境に配慮した製造活動

環境に配慮した超精密板金製品作りを推進します

4. 環境経営の継続的改善

環境に配慮した製造活動を中心に環境経営の継続的改善を行います

5. 環境コミュニケーションの実施

- 1) 社外に環境活動レポートを公開し、
利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます
- 2) 社内においては、全従業員に環境方針を周知し、
全社員参画による取組を目指します

制定年月日 平成30年9月1日(初版)
株式会社 秋山機器
代表取締役社長 秋山 尚毅

3. 実施体制

<経営の推移体制及び関係者の権限と役割>

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境経営に必要な資源の準備
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境管理責任者の任命
- ⑤ 経営における課題とチャンスの明確化

代表取締役社長

秋山 尚毅

作成日 令和6年5月1日
作成者 駒形 英史
対象範囲 全組織

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境目標及び環境活動計画の作成
- ③ 社長への取組状況の報告
- ④ 環境活動レポートの作成

環境管理責任者

(管理部部長)
駒形 英史

EA21事務局

- ① 環境負荷データ等の集計
- ② 環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③ 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤ 法規制の遵守状況チェック
- ⑥ 文書・記録の管理

EA21事務局

(総務課)

袴田 亜祐美 ・ 漆田 春香

技術部

課長

営業部

部長

品質管理室

室長

製造部

課長

組立製造部

部長

- ① 部門の環境活動計画の実施
- ② 部門データの集計
- ③ 部門の問題点把握と是正対策の実施
- ④ 部門取組状況の事務局への報告
- ⑤ 部門の従業員教育

各部門長

その他の従業員

- ① 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

4. 環境経営目標と実績

1. 令和5年度及び運用期間(令和5年6月～令和6年5月)の環境目標及び実績

項目	単位	基準期間	運用期間				
		令和3年6月～ 令和4年5月	令和5年6月～令和6年5月				
		基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	368,876	-2%	361,498	-5%	342,158	○
	原単位	682		668	14%	759	×
内訳	電力	kWh	-2%	805,091	-6%	755,625	○
		原単位		1,488	13%	1,675	×
	ガソリン	L	-2%	1,677	-24%	1,267	○
		原単位		3	-9%	3	○
	軽油	L	-1%	2,259	3%	2,316	×
		原単位		4	23%	5	×
廃棄物 排出量	産業廃棄物	kg	-2%	15,362	-7%	14,295	○
		原単位		28	12%	32	×
	産業廃棄物 (有価物)	kg	-2%	124,734	-30%	86,960	○
		原単位		231	-16%	193	○
	一般廃棄物	kg	-1%	11,286	58%	17,850	×
		原単位		21	90%	40	×
水使用量	m	757	-1%	749	0.3%	752	×
	原単位	1		1.38	20%	1.67	×
化学物質使用量			定性目標				
顧客からのクレーム	件	0	0	0	0	0	○

<備考>

- 削減比率は、目標値に対する削減量の割合である。
- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー調整後排出係数の「0.441kg-CO₂/kWh」を使用した。
- 当社の使用する化学物質(PRTR法対象物質)については、下記の場合いずれかに相当する為目標管理とはせず定性目標とする。
①使用量がごく少量の場合②客先指定により削減の余地がない場合③削減することが製品品質の劣化に直結する場合
- 生産量(売上高)に比例する部分が多い為、目標値及び実績の評価は総(使用・排出)量を売上高で割った値(総量/百万円 原単位)を使用する。但し、総量を把握・評価することも重要であるため、実績は総量を併記して追跡できるようにする。

2. 短期・中期の環境目標

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
二酸化炭素排出量	3%減	4%減	5%減	5%減	5%減
電力	3%減	4%減	5%減	5%減	5%減
ガソリン	3%減	4%減	5%減	5%減	5%減
軽油	1%減	2%減	3%減	4%減	4%減
産業廃棄物	3%減	4%減	5%減	5%減	5%減
産業廃棄物(有価物)	3%減	4%減	4%減	4%減	4%減
一般廃棄物	1%減	2%減	3%減	4%減	4%減
水使用量	1%減	2%減	3%減	4%減	4%減
化学物質使用量	定性目標				
顧客からのクレーム	0件	0件	0件	0件	0件

<備考>

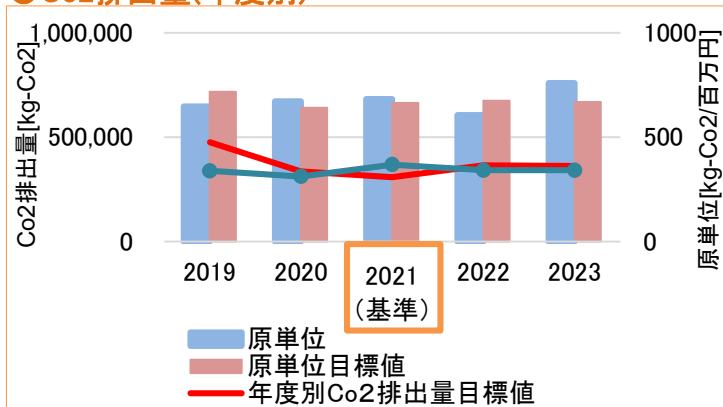
- 令和3年度の実績値を基準値とする。
- 削減比率は、目標値に対する削減量の割合である。
- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー調整後排出係数の「0.441kg-CO₂/kWh」を使用した。
- 当社の使用する化学物質(PRTR法対象物質)については、下記の場合いずれかに相当する為目標管理とはせず定性目標とする。
①使用量がごく少量の場合②客先指定により削減の余地がない場合③削減することが製品品質の劣化に直結する場合
- 生産量(売上高)に比例する部分が多い為、目標値及び実績の評価は総(使用・排出)量を売上高で割った値(総量/百万円 原単位)を使用する。但し、総量を把握・評価することも重要であるため、実績は総量を併記して追跡できるようにする。

課題と展望

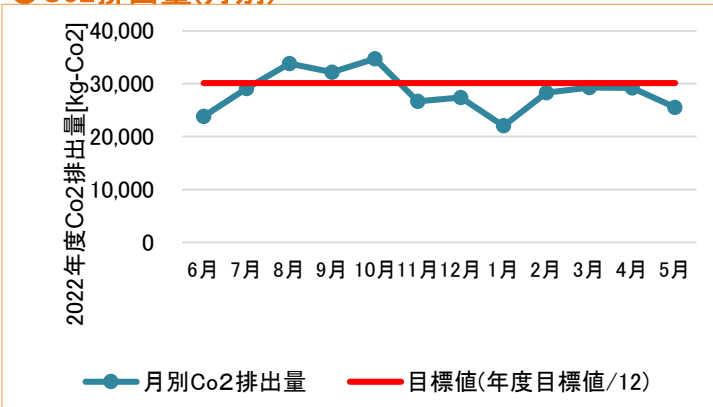
エコアクションを通し、二酸化炭素排出量を出来る限り抑えた環境を維持できるようにすることで、恒常的に少ない二酸化炭素排出量を保つことが課題である。最終的には弊社で技術力や生産能力を向上させると同時に、エコアクションに従事することにより更なる顧客からの信頼の取得を目指したい。

5. 環境経営目標の実績とその評価・次年度の環境経営目標①

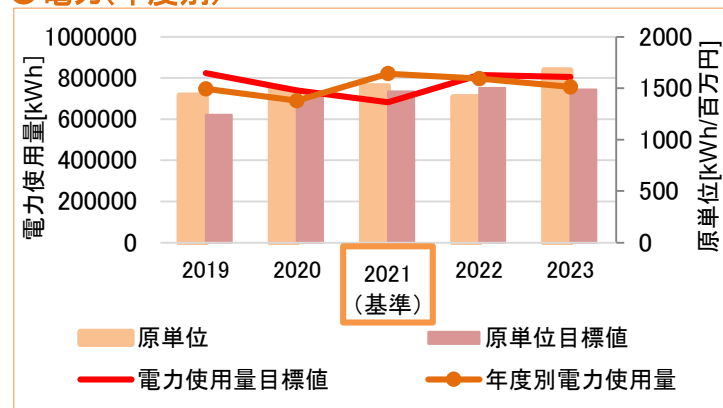
●Co2排出量(年度別)



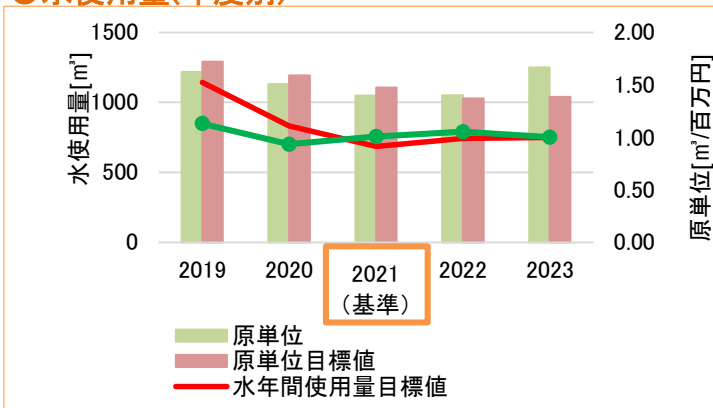
●Co2排出量(月別)



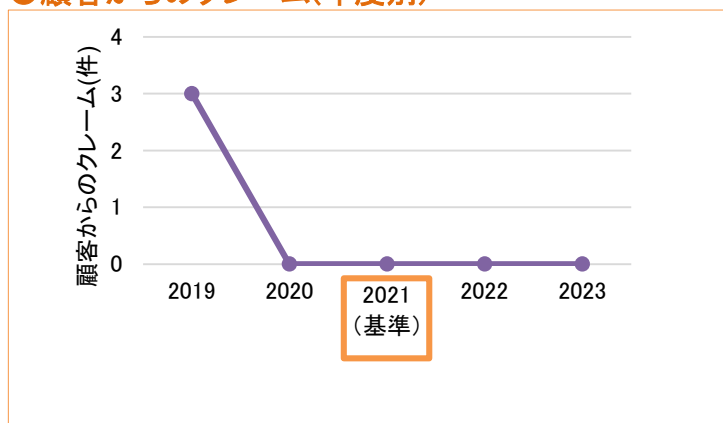
●電力(年度別)



●水使用量(年度別)



●顧客からのクレーム(年度別)

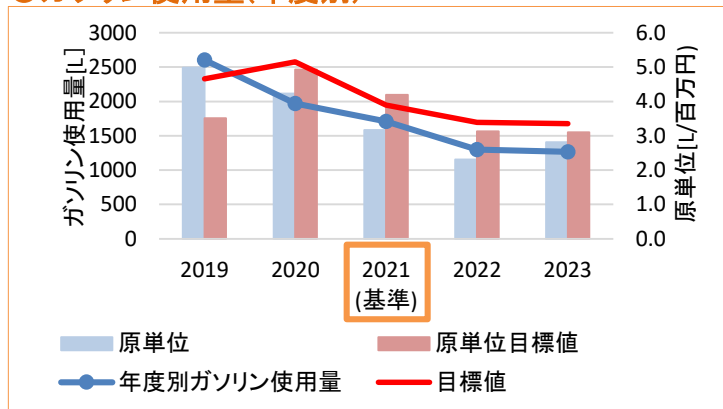


<項目別の傾向>

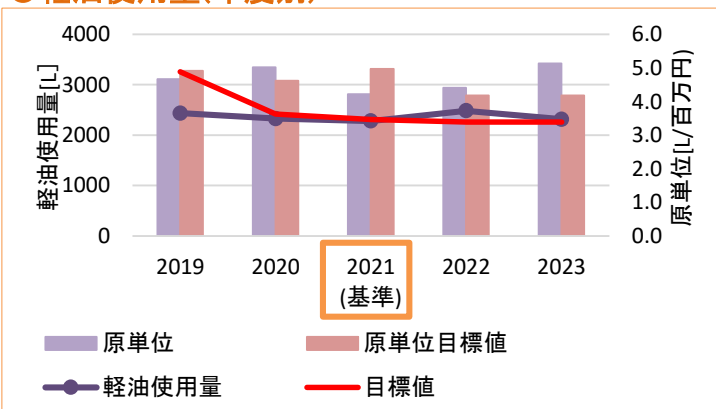
Co2排出量	今年度は目標値を上回ってしまった。電力や軽油の使用量が目標値を達成出来ていなかったことが原因であると考えられる。来年度は、Co2排出量に関わる項目の目標値達成を課題として解決策を模索していきたい。
電力	今年度は目標値を上回ってしまった。電力使用量と生産量が比例しておらず、無駄な電力を使用したことが原因であると考えられる。しかし、総量を見ると、年々減少傾向が見られるので、無駄な電力を削減して生産効率を高めていくことで目標達成を目指していきたい。
水使用量	今年度も目標値を上回ってしまったが、昨年度より使用総量を減らすことが出来た。節水を全社員で心がけることが出来たことが要因と考えられる。来年度は、特に使用量が多くなると見込まれる夏季を中心に引き続き節水を心がけ、使用量を目標値以下になるように目指していきたい。
クレーム対応	今年度も昨年度同様、クレーム0件を達成することが出来た。社員全員がクレームを0件にする意識を持って業務にあたっていたことが要因と言える。来年度も引き続きクレーム0件を目指したい。

5. 環境経営目標の実績とその評価・次年度の環境経営目標②

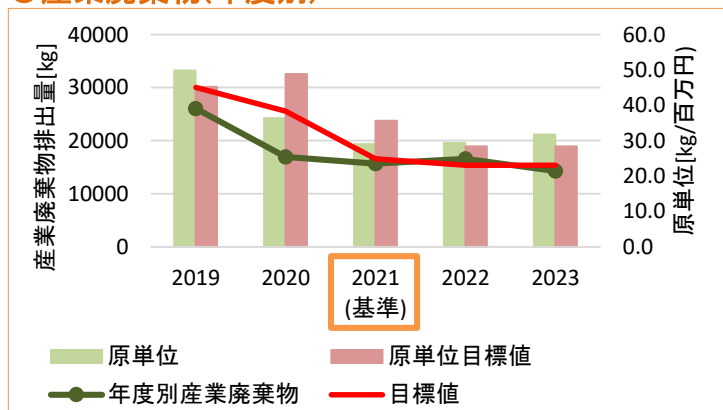
●ガソリン使用量(年度別)



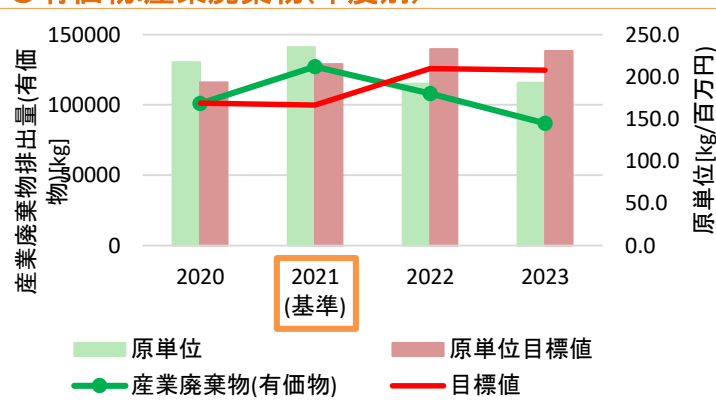
●軽油使用量(年度別)



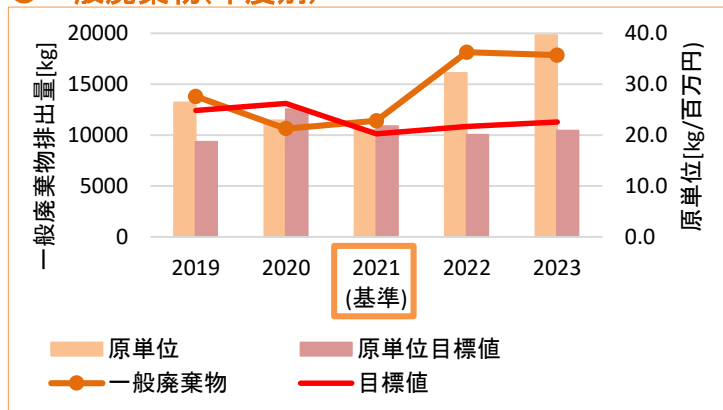
●産業廃棄物(年度別)



●有価物:産業廃棄物(年度別)



●一般廃棄物(年度別)



<備考>

産業廃棄物(有価物)は、2020年度のレポートから明記

<項目別の傾向>

ガソリン	昨年度に引き続き、目標値より使用量を下回らせることが出来た。昨年度同様のエコドライブにおける意識付けが要因だと考えられる。来年度も引き続き意識付けを大事にして、使用量低下に貢献していきたい。
軽油	今年度は昨年度に引き続き目標値を上回ってしまった。原因は距離が遠い住所への配送頻度が目立っていたことが原因だと考えられる。来年度は、引き続き使用量を減少させ目標値を下回るような対策を模索していきたい。
産業廃棄物	今年度の産業廃棄物(有価物)の目標値を引き続き下回らせることが出来た。適切な分別を徹底したことが要因だと考えられる。しかし、産業廃棄物は昨年度に引き続き目標値を上回っているため、来年度は両項目の目標達成を目指して、分別の徹底などの廃棄削減に対する意識向上に努めたい。
一般廃棄物	今年度も目標値より廃棄総量が大幅に増加してしまった。社内美化の為に草取りなどを積極的に行なったことが考えられる。しかし、昨年度より総量がわずかに減少しているのは、ゴミ削減の意識付けが浸透しつつあることが考えられる。来年度も引き続き改善案を模索していきたい。

6. 環境経営計画

(令和5年度: 令和5年6月～令和6年5月)

環境活動項目		活動内容	責任者	次年度の 取組内容
Co2 排出量 の削減	電力削減	エアコンの設定温度を夏季30℃、冬季20℃に設定	駒形	継続
		クールビズ、ウォームビズの実施		
		空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回／年)		
		高効率照明の採用(LED、HF蛍光灯、高効率水銀灯)		
	車両燃料削減	未使用設備の電源OFF(製造設備・OA機器・他)	齊藤	継続
		エコドライブの施行		
廃棄物 排出量 の削減	廃棄物の削減	車両日報の記載・燃費確認(走行キロ数、給油量等)	駒形	継続
		コピー用紙の両面使用		
	リサイクルの推進	封筒などの再利用	駒形	継続
		プラスチック端材の再使用率向上		
		廃パレット(木材)のリサイクル率向上		
		廃プラスチックのリサイクル率向上		
水使用量の削減		駒形	継続	
水もれ点検の実施				
		節水の呼びかけ		
化学物質		随時 適正管理・適正保管を行う	各自	継続
経営上の目標	環境に配慮 製品作り	コンプレッサーのエア漏れチェック	小澤	継続
		段取り時間の短縮	大嶽	継続
	工程内不具合・ 廃却数の削減	不良品の削減	土屋	継続
		5S活動の実施	大嶽	継続
	顧客からの クレーム	顧客からの重大クレームなし	大嶽	継続
		迅速なクレーム対応		

7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画①



電力削減

【取組み】

- ①節電を推進するために張り紙で呼びかけた。
- ②薄手の制服や空調服の導入や制服の早期注文を行うことにより、各自でクールビズ・ウォームビズを行えるように促した。
- ③長期休暇に入る前に、例年通り空調フィルターの清掃を行った。
- ④窓や扉の開閉で温度調節をし、なるべくエアコンを使用しない様に各自心掛けた。
- ⑤エアコンや照明を使用しない時は、こまめにスイッチを切る様に各自心掛けた。



[評価]

昨年度同様に、制服の支給を気温が急変する前に行うことや、窓の開閉による温度調節が出来ていたことに加え、こまめにエアコンや照明のスイッチオフが出来た。その結果、電気使用総量においては1年を通して全体的に目標値より下回らせることが出来た。

来年度は、引き続きこの活動が続けることで電気使用量を抑えていきたい。その為にも、各自が意識して節電を行うように本年同様に呼びかけを行っていきたい。

7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画②



車両燃料削減

【取組み】

- ①車両日報を記録することで、走行距離などを把握した。また、エコドライブについて自己評価をすることで、エコドライブに関する意識付けを行った。
- ②エコドライブを推進するために張り紙で呼びかけた。

車両日報												前月繰越メーター		km																	
部署		車両名		車両番号		エコドライブ							運転管理							アルコールチェック											
日付	使用者	行き先	給油	発車前距離	帰社後距離	A	B	C	D	E	F	G																			
			有・無	km	km									確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無
			有・無	km	km									確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無
			有・無	km	km									確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無
			有・無	km	km									確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無
			有・無	km	km									確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無	確認者	:	対面	TEL	有・無	有・無

※エコドライブ・運転管理項目下記参照 【項目に○・×で評価】

(A) 不必要なアイドリングの禁止 (B) 不要な荷物を積まない (C) 急発進・急加速の禁止 (D) 効率的な集配ルート の選定 (E) 早めにシフトアップ (F) 同方向は相乗りの施行 (G) 低冷房・暖房運転の施行



【評価】

車両日報の記入及びエコドライブの自己評価がほぼ定着し、エコドライブの実施を各自がしっかり行うことが出来た。その結果、ガソリンの使用量を昨年度に引き続き抑えることが出来た。来年度以降も継続して行い、更なるガソリン使用量抑制へ貢献していきたい。軽油においては、昨年度より使用量が減っているものの、目標値を上回っているため、一年を通して使用量を抑えられるように対策を模索していきたい。

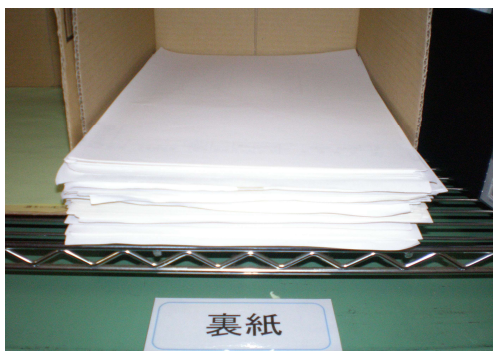
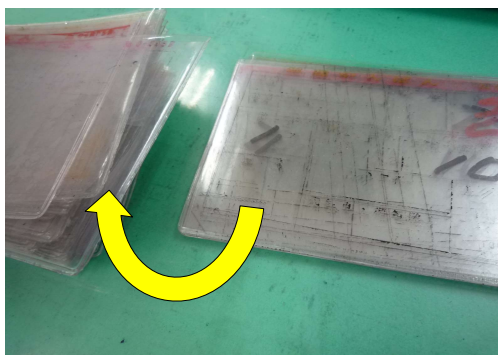
7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画③



廃棄物の削減

【取組み】

- ①片面が白紙のコピー用紙を保存し、裏面を使用することで廃棄物の削減を行った。
- ②使用済みの封筒を、社内連絡用の書類入れに再利用した。
- ③再利用可能の備品を洗浄し、廃棄物の削減を行った。
- ④廃棄予定の空き箱を、小物入れとして再利用することで廃棄物の削減を行った。



【評価】

紙の廃棄削減を中心に、廃棄物の削減に対する取り組みを行うことが出来た。また、今年度は空き箱の再利用を行い、廃棄量の削減に貢献できた。来年度は、更に廃棄量を減らすために、再利用できるものの検討も引き続き試みていきたい。また、裏紙の再利用など、従来から行っている活動は、引き続き実施していきたい。

7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画④



リサイクルの推進

【取組み】

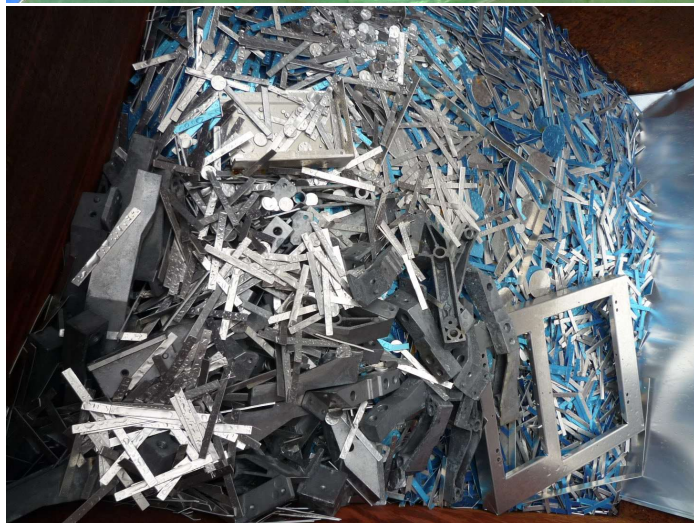
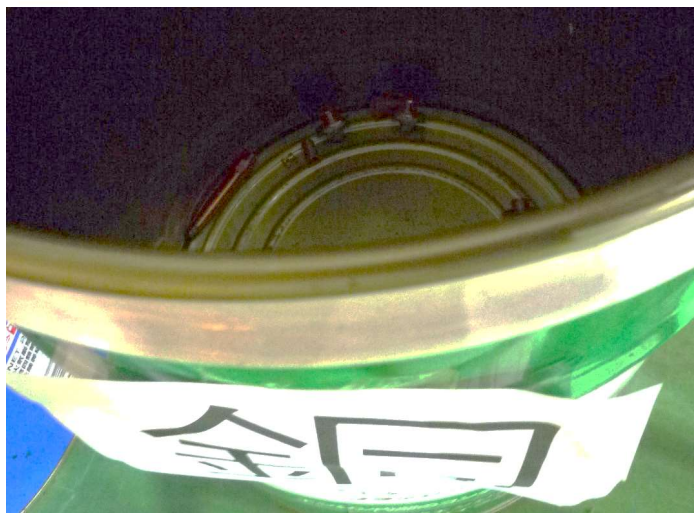
- ①ごみの分別を徹底することで処理時のCO2削減を試みた。
- ②適切な回収業者に依頼することにより、廃棄物の適切な処理を行った。
- ③表示看板の更新により、記載表示を明確にし廃棄物の適切な分別を促した。
- ④有機物回収ボックスの地図及び立札の作成や朝礼での呼びかけにより、廃棄物の適切な分別を促した。



7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画④



リサイクルの推進



[評価]

昨年度よりも更に徹底的にゴミの分別に力を入れ、社員全員に分別場所の周知を行うことが出来た。その結果、回収業者による適切なリサイクル化が、より容易になるような分別を行うことが出来た。
来年度も社員全員が適切な分別を行えるように周知を怠らない様にしていきたい。

7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画⑤



水使用量の削減

【取組み】

- ①こまめな節水を張り紙で呼びかけた。
- ②水漏れ点検を実施した。



【評価】

水使用量の削減において、昨年度同様に目標値を上回ってしまった。原因の一つとして、飲料水としての使用などの猛暑に伴う熱中症対策によるものが挙げられる。来年度は道具の洗浄などの多量に水を使う必要が無い時に、一層節水を心がけることによって 水の使用におけるメリハリをつけ、熱中症対策を行っていても水使用量の減少に貢献出来るようにしていきたい。また、水漏れ点検の実施は来年度も行っていきたい。

7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画⑥



経営上の目標

【取組み】

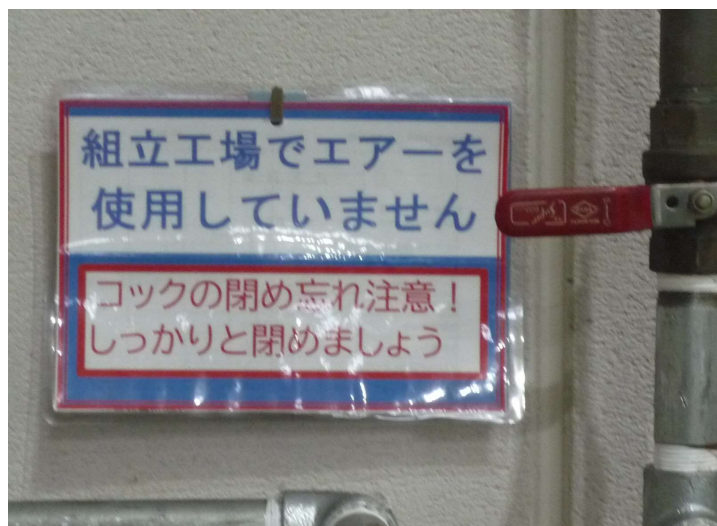
- ①コックの閉め忘れ防止を張り紙で呼びかけ、エア漏れ防止を図った。
- ②月初にコンプレッサーのエア漏れチェックを行った。
- ③5S活動の実施を促すように張り紙で呼びかけた。
- ④製造工程や段取りについての報告を朝礼で行った。
- ⑤不良品や顧客からの重大なクレームが発生しない様に心がけて作業を行った。
- ⑥昨年度の環境経営レポートを掲示することにより、環境に配慮した製品作りへの意識の向上を試みた。
- ⑦製造部の役職未就任者数名を主任に就任させることにより、従来よりも効率よい業務進行や迅速なトラブル対応の実現を試みた。



7. 取組内容及び取組結果とその評価/次年度の環境経営計画⑥



経営上の目標



[評価]

取り組みを通して、経営上の目標に対して尽力することが出来た。重大なクレームも発生することが無かった。また、昨年度よりも他部署の手伝いを積極的に行うことで、作業効率を上げることが出来た。更に清掃用具の一部新調を行ったことにより、5S活動をより強化して働きやすい環境作りにも貢献することが出来た。しかし、生産量に伴う原単位の上昇が見られたため、来年度は効率のよい生産を目指しつつ、引き続き経営上の目標へ近づけるように取り組んでいきたい。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

評価日 令和6年5月31日
評価者 環境管理責任者 駒形 英史

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法律・条例		条項	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果	
義務	法令	騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定（市及び自主検査）	○
			第6条	特定施設の届出	変更無し	○
			第8条	特定施設の数等の変更の届出	変更無し	○
		振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定（市及び自主検査）	○
			第6条	特定施設の届出	変更無し	○
			第8条	特定施設の変更等の届出	変更無し	○
		廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
			第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
			第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
			第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○
			第12条の3第1項	マニフェストの交付		○
			第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
			第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
			第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○
			規則第7条	水銀含有廃棄物の保管と処理	保管場所の管理及び指定業者への引き渡し	○
			第12条の3第8項	管理票写しの送付がない時の適切な措置の実施	運搬又は処分業者からのD/E票の期間内返却	○
		消防法	第9条の4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	・市町村条例で定める ・指定可燃物：紙屑、プラスチック類等	○
			第17条の3	消防用設備等の点検及び報告	消火設備の定期点検	○
		家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電廃棄時のサイクル料金の支払	○
		自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）	第8条	使用済自動車の引渡義務		○
			第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払（廃車時）	○
		省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）	第4条	エネルギー使用量の合計が1、500L／年以上の事業者は届出	エネルギー使用量（原油換算地）の把握	○
		フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）	第16条	冷凍空調機器：全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検（3ヶ月に1回以上）」実施 電動機定格出力に応じた資格者による「定期点検」 ②空調機（50kW以上）1年に1回以上 ③空調機（7.5kW～50kW未満）3年に1回以上 ④冷凍冷蔵機器（7.5kW以上）1年に1回以上	①企業・法人の管理者が確認 ②、③、④ 有資格者による定期点検実施	○
			第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務 簡易点検の実施（3ヶ月に1度）	○
	その他	顧客グリーン調達基準		顧客適合材料の使用及び適合製品の納入	○	
	静岡県条例	静岡県生活環境の保全等に関する条例	第52条	騒音基準の遵守義務		○
			第53条	騒音特定施設の届出	空気圧縮機（原動機の定格出力が4kw）	○
第55条			騒音特定施設変更の届出	変更無し	○	
第79条			振動基準の遵守義務		○	
第80条			振動特定施設の届出	金属加工機械（液圧プレス）	○	
第82条			振動特定施設の変更等の届出	変更無し	○	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例			第82条	産業廃棄物管理責任者の設置		○
第10条			委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○	
責務・努力		法令	環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組
	地球温暖化対策推進法		第5条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
	循環型社会形成推進基本法		第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
	リサイクル法（資源の有効な利用の促進に関する法律）		第4条	指定再資源化製品のリサイクルへの協力（適正廃棄）	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	○
	グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）		第5条	事業者の責務（国等の施策への協力等）	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○

2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1・見直し関連情報	項 目		確認	:(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	✓	記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	✓	二酸化炭素排出量、電力、軽油、産業廃棄物、一般廃棄物、水は未達
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	✓	継続して取り組みます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	✓	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	✓	沼津特別支援学校愛鷹分校の生徒達に作業の実習を行わせました。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	✓	別紙にて報告の通り
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	✓	別紙にて報告の通り
	8	その他()		

2・代表者による全体評価・見直し指示

本年度は、産業廃棄物(有価物)の項目における目標達成を評価したいと思います。廃棄物の削減及び分別に力を入れられたことが、目標達成に繋がったと考えられます。これからも良い結果を残せるように励んで参ります。

しかし、目標を達成出来ていない項目が複数あることも伺えます。その中でも一般廃棄物においては、近年積極的に行っている草取りなどの美化活動が原因の一つであると考えられるため、目標値の再設定を行う必要があると考えられます。

全体を通して、昨年度より総量が減少しているものが多く見られます。ただ、目標達成した項目においては昨年度よりも少ないです。これからは、今年度よりも良い結果が残せるように、尚のこと環境保全活動に社員一同で積極的に行えるような体制を構築して参ります。

令和6年6月30日

株式会社 秋山機器

代表取締役 秋山尚毅

見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・ ☒ 無	
2	環境経営目標	☒ 有・無	未達成になった項目については年間を通じて把握し、目標の立て方を検討すること
3	環境経営計画	☒ 有・無	未達成の目標については活動計画を見直し手段を増やすこと
4	環境に関する組織(実施体制含め)	有・ ☒ 無	
5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無	
6	その他(外部への対応)	有・ ☒ 無	

◆地域との融合活動①◆

地域活動年間スケジュール

令和5年	7月 2日(日) 門池公園一斉清掃奉仕
	8月 5日(土) 沼津工業高等専門学校 1日体験入学 駐車場貸出
	10月 14日(土) 施設内の草刈り
	11月 12日(日) 門池公園一斉清掃奉仕
令和6年	3月 16日(土) 施設内の草刈り
	4月 6日(土) 施設内の草刈り
	4月 27日(土) 施設内の草刈り

静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校 地域作業の協力

令和5年 4月 26日(水)～6月 21日(水)	第1期
令和5年 9月 6日(水)～11月29日(水)	第2期
令和5年 12月 6日(水)～令和6年2月28日(水)	第3期

PICK
UP

施設内の草刈り

社内奉仕として、社員一同で施設内の草取り及び草刈りを行いました。手際よくチームワークを大切にしながら作業が出来ました。結果、施設内の美化に成功することが出来ました。また、雑草が歩道にかかる心配もいらないほど、スッキリした景観にすることが出来ました。



◆地域との融合活動②◆

PICK
UP

門池公園一斉清掃奉仕

門池自治会における一斉清掃に参加し、地域の方々と一緒に草取りやゴミ拾いなどに励みました。自治会の方の指示に従って、社員一同集中を切らす事なく、作業に勤しみました。その結果、門池公園の美化活動に貢献することが出来ました。

PICK
UP

沼津特別支援学校愛鷹分校 地域作業の協力

前年度同様、

- ・地域での実地的な作業体験を通して、多様な職種についての理解を深める。
- ・自己理解を深めると共に、自分の適性を見極め、主体的に進路選択が出来る。

をコンセプトに沼津特別支援学校(愛鷹分校)の高等部2年生の生徒達による弊社での作業を体験していただきました。板金製品における油汚れの拭き作業を行って頂き、実習を通して、社員との交流や実作業に意欲的に勤しんでもらうことが出来ました。また、昨年度作業を体験してくれた高等部3年生の生徒達が、ご卒業の報告と挨拶に来てくれ、一回り大きくなって頼りがいがある姿や誠意を込めてお礼をしてくれる彼らを見て、とても嬉しく思いました。更に、手の込んだお礼の品々を頂くことで一層強く感謝の思いを受け取ることが出来ました。みなさんの今後の活躍を楽しみにしております。



◆環境上の緊急時対策◆

作成日：令和5年11月24日

作成者：駒形 英史

概要

想定される環境における緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めて内外への連絡を円滑に行うこと、可能な範囲で事前に想定・準備することを念頭に、定期的な訓練を行う。更に、訓練の後に対応の評価と改善策の提示を行う。

想定される緊急時及び対応策

・想定されるパターンを制定することによって、具体的なイメージしながら訓練することによる技能の向上を図った。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
南海トラフ地震	地震による加工機械現場からの火災	地震による電気火災	・置場の整理・整頓 ・消防計画に則った行動 ・消火栓・消火ホース・消火器の確認 ・消火器の使い方の把握 ・電気コードの損傷の確認
	高所からの重量物落下・転倒	地震による揺れ 不安定な置き方	・置場の整理・整頓 ・安全経路の確保 ・身の安全確保を迅速に行う ・製品の置き方の工夫

訓練記

想定される緊急時の状況 地震による保管庫からの火災対応

訓練日 2023/11/16

参加者 全社員



訓練において行った対処等

- ・整理・整頓の確認
- ・迅速な対応を意識した初期消火行動
- ・確認及び確保した避難経路を使用した迅速な移動を意識した避難
- ・水消火器を使った消火体験の実施

評価と改善策

加工機械現場には地震などの際に火災の発生の恐れがあるため、今回社員全員で消火訓練を実施した。想定できそうな災害に対する訓練を、役割分担を明確にして行った。そして、来ていただいた弊社の消防の監督を行っている業者様に評価を頂き、消火器の使い方を教わって実践を試みた。結果、連絡や初期消火活動を迅速に行うことが出来た上、災害が起こった場合の想定を考える良い機会になった。反省点は、水消火器の数に限りがあったため、限られた人数しか消火体験が出来なかったことである。来年度は、未経験者に実施してもらい、消火器使用経験者の数を増やしていきたい。

◆環境コミュニケーション受付表◆

作成・管理担当: 駒形英史

NO.	情報入手日	通報者	通報方法	住所	内容	対応内容 (回答の必要性の有無を含む)
				連絡先		
1	/		電話・メール ()			
2	/					
3	/		()			
4	/		電話・メール ()			
5	/		電話・メール ()			
6	/		電話・メール ()			

クレームなし